

令和6年度とうきょうすくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立石浜橋場こども園
所在地	台東区橋場1-35-1

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な環境に関わり探究する幼児(地域の文化)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
・地域の文化に触れる体験を通し、感性を豊かにするとともに、自ら遊びの中に取り入れ再現しようとしたり、より詳しく調べようとしたりし、自分たちの住む地域への興味・関心を深めてほしいと考えた。

2. 活動スケジュール

5月から6月 地域の祭り・行事等をより深く知る。(実体験、講師の話、絵本等)
6月 講師を招聘したお茶会 地域散策(おばけ地蔵見学) 8月 盆踊りの会
9月 講師を招聘したお話の会 地域散策 1月 凧作り 花やしき遠足
通年 身近な地域の文化や本物に触れる体験を通して、興味・関心を深め、自ら遊びに取り入れ、試行錯誤しながら再現する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

○地域の祭りや行事などへの興味関心を深められるように
・「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちをもてる環境(祭りや行事の絵本、写真、太鼓、鐘などの楽器、祭りや盆踊りの曲など)
・神輿や屋台、花やしきなど、地域で経験したことを試行錯誤しながら遊びの中で再現できるようなダンボールや様々な材料、場の工夫

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

○三社祭の後、自分たちで「おみこしを作ろう!」「屋台も作りたいな」など、自分たちなりに友達と話し合い、様々な材料や遊具を選び、工夫しながら再現しようとする姿が見られた。
○夏に盆踊り会を開催し、石浜小学校の太鼓クラブの方や、地元の方に台東音頭などを教えていただき、一緒に盆踊りを楽しんだ。
○お茶会では地域の先生にご協力いただき、実際にお茶を点てている様子を見ながらお茶会に参加することを楽しんだ。

＜活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり＞

○地域の祭りへの関心の高い子が多く、好きな遊びに取り入れる姿が見られた。自分たちで本を見て調べたり、お囃子の音色を聴いて選択したりと、よく考え工夫しながら作る姿があった。子供たちの「本物らしくしたい」という思いを実現できるよう、保育者は必要な援助を行った。出来上がった神輿を担ぎ、満足そうに園内を回る姿が見られた。

○盆踊りの会では、大きな音の太鼓やかっこいい小学生に憧れのまなざしを向けていた。また、地元婦人会の方との関わりを楽しみながら嬉しそうに踊る姿が見られた。会の後は、自分たちで音楽を掛けて踊ったり、太鼓を作って叩いたりする姿が見られた。

○お茶会では、地域の先生方に優しくご指導いただき、緊張感を味わいながらも、お茶を点てる音や雰囲気を感じ取り、本物を体験することを楽しんだ。

＜活動の様子＞



5. 振り返り

○石浜橋場こども園は、地域の教育資源が多い。「やってみたい」「もっと知りたい」「どうしたら喜んでもらえるだろう」など、地域の事象に積極的に関わろうとする子供たちを育てるために、本物に出合う体験や地域の教育資源の取入れ方を工夫する必要がある。